

OCTOBER 2018

Newsletter from WA

Kae Takaoka



授業の様子

日本語の授業はWorld Languageという第二言語科目のうちの一つで、スペイン語、ラテン語、フランス語、日本語の中から選択します。ワシントン州では日本語教育が盛んですが、最近では日本語のかわりに中国語を実施する学校も増えてきました。そのような中で、日本語クラスを選択している生徒は日本に興味があったり、何かしらのつながりがあったりする子たちです。それぞれが特別な日本との繋がりを持って教室にきています。

生徒と一口に言っても、白人、黒人、ヒスパニック、アジア系など多種多様です。中には、英語が母語ではない世界各国からの移民や難民の生徒も在籍しています。校則はありますが、制服はなくスタイルも様々です。生まれた時から多様な環境で育ってきたアメリカの高校生は日本の生徒と違うだろうと思うかもしれませんが、実際に接してみると、授業に取り組む姿やクラスメイトと楽しそうに過ごす姿など日本の高校生と変わりありません。どの生徒も日本にいるような生徒ばかりで、国や人種が違っていても本質的には同じです。世界中の高校生がそうなのかもしれないと思うと、世界がもっと身近に感じますね。

10月といえばハロウィン。最近では日本でもお祝いする人が増えてきました。こちらでも先月からハロウィンの飾りを目にするようになりました。食料品スーパーの入口には様々な種類のかぼちゃが所狭しと並べられています。その数は20種類以上！近隣のかぼちゃ畑はオレンジ一色です。



いろんな種類のかぼちゃ

PLEDGE OF ALLEGIANCE / 忠誠の誓い

アメリカの学校では忠誠心を養うために、誓いの言葉を述べる時間があります。強制ではありませんが、生徒は教室で起立し右手を自分の左胸に当て、アメリカ国旗に向かってこの文章を述べます。多民族国家であるアメリカを象徴しているような文章ですね。"I pledge of allegiance to the flag of the United States of America and to the Republic for which it stands, for one Nation under God, invisible, with liberty and justice for all." 「私はアメリカ合衆国の国旗に、そしてその国旗が象徴する共和国に、神の下で一国として分かたれずに存在し、全ての人に自由と正義が約束されたこの国に忠誠を誓います。」